

Game Prep Report

Fighters Intelligence Lab(非公式・個人分析プロジェクト)

試合情報

対戦カード	ファイターズ vs 福岡ソフトバンクホークス
試合日	2026年7月15日(ホーム)
球場	エスコンフィールドHOKKAIDO
予想先発	加藤貴(F) vs 未定(H)
データ更新日	2026年7月14日

Executive Summary

首位ソフトバンクとの3連戦第2戦。今季の対戦成績は1勝11敗0分と大きく負け越しており、直近5試合も2勝3敗0分と勢いを欠く。ただしチーム全体では先制時勝率.674と先行逃げ切りの型は確立している。序盤に主導権を握り、失点が集中する7・8回を勝ちパターン(島本-田中正義-柳川)で埋められる展開に持ち込めるかが最大の焦点。

Key Metrics

指標	数値	評価	補足
直近5試合勝敗	2勝3敗0分	Watch	7/8~7/14
平均得点(直近5)	3.8	Neutral	1試合あたり
平均失点(直近5)	4.4	Neutral	1試合あたり
先制時勝率	.674	Good	先制時 31勝15敗0分
対ソフトバンク	1勝11敗0分	Risk	今季対戦成績
7・8回の失点	94点	Risk	全失点319点の29%
相手中軸OPS	.997 / .912	Risk	近藤 / 栗原
守護神セーブ数	19S	Good	柳川(防御率2.40)

Matchup Focus

Fighters	福岡ソフトバンクホークス
----------	--------------

打線状態: レイエスが打率.320・20本・OPS.959とチームを牽引。万波17本と中軸の長打力は健在。	打線状態: 近藤(OPS.997・20本)と栗原(25本・62打点)の中軸はリーグ屈指の破壊力。
先発投手状態: 先発は未発表。ローテ全体では北山(防2.22)・加藤貴(9勝1敗)が軸。	先発投手状態: 未発表。
ブルペン状態: 守護神柳川19S、島本(防0.72)・田中正義(WHIP0.76)の勝ち継投は堅調。ただしチーム全体では7・8回の失点(94点)が全失点の29%を占める。	チーム状態: 勝率.6超えでパ・リーグ首位を快走。対ファイトアーズは今季11勝1敗と圧倒。
最近の試合傾向: 直近5試合2勝3敗0分。得点は1回・3回に集中する先行型で、先制時勝率.674。	最近の傾向: 昨日(7/14)も終盤の集中打でファイトアーズを逆転。終盤勝負に強い。

Key Players

区分	選手	直近成績	ポイント
Fighters	レイエス外野手	打率.320 / 20本 / OPS.959	全部門チームトップ。相手バッテリーが最も警戒する存在。期待: 走者を置いた場面で勝負してもらえるか。四球なら後続の一打に期待。
Fighters	万波中正外野手	17本塁打 / 長打率.5前後	一発で試合を変えられるチーム2位の長打力。期待: 先制・勝ち越しの場面での長打。
Fighters	島本浩也投手	防御率0.72 / 16H	勝ちパターンの左。首位打線の左の中軸(近藤・栗原)に対する最重要カード。期待: 7回以降、近藤・栗原との対戦をどこで作るか。
Opponent	近藤健介外野手	打率.296 / 20本 / OPS.997	リーグ最高水準のOPS。出塁も長打も両立する最大の脅威。対策: 走者を溜めた状態で勝負しない。厳しく攻めて四球は許容。
Opponent	栗原陵矢内野手	25本 / 62打点 / OPS.912	本塁打25本はチームトップ。甘い速球は長打になる。対策: 低めを丁寧に。近藤との連続出塁を避ける。

Risk Factors

リスク	レベル	説明	対応仮説
対ソフトバンク相性	High	今季1勝11敗0分と一方的に負け越し。特に博多での3連戦は全敗が2度。	苦手意識を数字で断ち切るには先制が最短。序盤の全力勝負で主導権を握る。
7・8回の失点集中	High	イニング別失点で7回47点・8回47点と突出。昨日7/14も9回に3失点で逆転負け。	6回までに2点差以上を作り、島本-田中正義-柳川の必勝リレーを固定運用する。

相手中軸の長打力	Medium	近藤20本・栗原25本。走者ありの被弾は即失点に直結する。	2人の前に走者を溜めない。周東の出塁(機動力)を初動で刈り取る。
----------	--------	-------------------------------	----------------------------------

Game Plan Hypothesis

先制点が最重要(先制時勝率.674 vs 被先制時は大きく分が悪い)。得点力の高い序盤(1回・3回)に相手先発を攻略し、6回終了時点で2点以上のリードを確保したい。7・8回はチームの失点が最も多い時間帯のため、リード時は島本-田中正義-柳川の勝ち継投を固定。近藤・栗原の前に走者を溜めないことを徹底し、僅差の終盤勝負を避ける試合運びが勝ち筋。

Data Notes

使用データ: NPB公式サイト(npb.jp)の試合結果・個人成績、プロ野球Freakのインングスコアを独自集計集計対象期間: 2026年3月27日～7月14日(全87試合)注意事項: 本レポートは非公式の個人分析であり、球団・NPBとは関係ありません。先発投手は未発表のため未記載。